

地学基礎

1. 学習の到達目標

- (1) 地球や地球を取りまく環境についての観察、実験などを行い、自然に対する関心や探究心を高め、地学的に探究する能力と態度を育てる。
- (2) 観察や実験を行い、基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な自然観を育成する。

2. 使用教科書：地学基礎（啓林館）

3. 指導計画

学期	単元／学習のねらい		学習事項	
前期前半	4月	第6編 宇宙の構成 第1章 太陽と恒星	太陽のエネルギー源や構造、太陽の活動のようすなどについて学ぶ。また、恒星の性質を分析する方法や恒星の進化の過程や時間的なスケールを理解する。 ビッグバンによる宇宙の誕生を理解し、宇宙の構造を知る。	・太陽の構造 ・太陽の誕生 ・太陽のエネルギー ・恒星の誕生 ・恒星の進化 ・銀河系の構造 ・宇宙の誕生
	5月	第2章 宇宙の姿		
	6月	【前期中間考査】		
前期後半	7月	問題演習	復習と問題演習を通して、苦手分野を克服するとともに、基礎力を高める。	・固体地球 ・岩石・鉱物 ・地質・地史 ・大気・海洋
	8月			
	9月	【前期期末考査】		
後期前半	10月	問題演習	復習と問題演習を通して、苦手分野を克服するとともに、基礎力を高める。 総合問題の演習を通して知識を深めるとともに、センター試験に十分に対応できる解答力を身に付ける。	・大気・海洋 ・天文 ・総合問題演習
	11月			
	12月	【後期中間考査】		
後期後半	1月	問題演習	総合問題の演習を通して知識を深めるとともに、センター試験に十分に対応できる解答力を身に付ける。	・総合問題演習
	2月			
	3月			

4. 評価基準と方法

【評価規準】

- ①積極的に学習に参加し、自然現象を科学的に理解しようとすることができる。
- ②様々な自然現象を、地学的に思考し、原理について説明することができる。
- ③観察や実験を通して、自然現象について正しく理解することができる。
- ④身近な自然現象について、正しい知識を身につけている。

【評価方法】

定期考査、提出課題および提出状況、実験レポート、学習活動への取り組みかた